

序

東京都健康安全研究センターは、都民の生命と健康を守るための科学的・技術的拠点として、感染症のまん延防止や食品、飲用水、医薬品及び生活環境等の安全確保のための試験検査に加え、食品や環境、医薬品の監視指導等を行っています。

これらの機能をより一層強化していくためには、平常時から試験検査の精度管理に努めるだけでなく、その効率性や迅速性を高めるとともに、新しい検査法を開発するための研究を行うことが重要です。さらに、都民の健康に対する未知の脅威を早期に発見し、必要な措置を講じ予防する取り組みも併せて行っています。

第72号研究年報は、令和2年度に実施した当センターの研究成果をまとめたものです。

本年報には、総説「動物由来感染症を取り巻く国内外の状況の変化と東京都における動物由来感染症の発生状況」をはじめ、重点研究2題及び新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する原著・資料を含む、6分野全44題の論文を掲載しました。

こうした研究の成果は、当センターの財産であると同時に、他の施設にとっても有用な情報であると自負しております。本報告に収載された研究成果は他施設においても、参考にさせていただきたいと考えており、本冊子のほか当センターのホームページ上でも公表しています。また、本年度もCOVID-19に関する報告に限り、その重要性と緊急性を鑑み年報発行前にホームページに掲載させていただきました。当センターは日本における新型コロナ検査の最前線を担っております。関係者の皆様には、是非、われわれの成果をご活用いただくとともに、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。当センターとしては、今後もこうした研究を積み重ねることで、東京都の危機管理対応力の向上に取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

令和4年3月

東京都健康安全研究センター所長
吉村 和久